

陝北時期の雑誌『党的工作』総目録と解題

井 上 久 士

『党的工作』は1936年から37年に陝北（陝西省北部）で出版された中国共産党中央委員会（中共中央）及び陝甘寧特区党委員会発行の党内雑誌である。創刊号は1936年6月10日、終刊号は1937年12月1日であった。通巻で48期までが発行された（1）。基本は旬刊であったが、必ずしも定期発行は守られておらず、第30期（1937年4月9日）と第31期（4月12日）、第39期（8月8日）と第40期（8月11日）のように間隔が3日の場合もあれば、第46（1937年10月20日）期と第47期（11月17日）、第21期（1936年12月5日）と第22期（12月30日）、第35期（1937年6月11日）と第36期（7月6日）のように一ヵ月近く間隔があく場合もあった。全体として見れば、1年半ほどの期間に48期発行されているので、旬刊と言ってもよいであろう。

本誌は第33期（1937年5月10日）までは、中共中央発行であったが、第34期（5月25日）から中共特区党委員会の発行に変わる。特区党委員会発行時期には陝甘寧辺区（この時期には辺区も使用されていたが特区という用語もしばしば使われていた）に関する地域的論稿が増加している。

なお1937年4月24日に、『党的工作副刊』として、「反対張国燾路線專号之一」として、通巻号に入らない張国燾批判の特集号が発行されている。

誌面の形式では、1937年8月28日の第42期から活版印刷になるが、それ以前は手書きのガリ版印刷であった。

本誌は、党の実際の活動の指導のための刊行物とされていた（2）。1937年春創刊された『解放』が主に全国的な問題についての党の方針を掲載するのに対し、『党的工作』は陝甘寧辺区の実際活動に関する論考

に重きをおいていた。その点で、共産党の陝北での具体的な活動を知るうえで重要な雑誌である。

編集長や編集委員会については、現在のところ不詳である。本誌が創刊された時、共産党中央は、まだ瓦窑堡にいた。7月に保安県城（現在の志丹）に移った時、中央宣伝部のなかに中央出版局が設立され、呉亮平が部長となり、ほどなく張聞天が部長、呉亮平は副部長、廖承志が中央出版局長になったという（3）。『党的工作』の編輯体制はよくわからないが、創刊号で論考を掲載しているところを見ても、呉亮平が中心的役割をはたしていたことが推測される。

そのほか『党的工作』に文章を寄せている中央幹部は、毛沢東、博古（秦邦憲）、張国燾、羅邁（李維漢）、洪濤（郭洪濤）、林伯渠、張浩（林育英）、楊尚昆、凱豊（何克全）、劉曉、富春（李富春）、拓夫（賈拓夫）、覚哉（謝覚哉）、亜光（黄亜光）、羅瑞卿、胡耀邦、頼伝珠などである。毛沢東のものは、後に『毛沢東選集』に収録された「自由主義に反対する」（第46期、1937年10月20日）の一編のみである。

『党的工作』は対外的に秘密の党内刊行物であったため、これまでその内容はほとんど知られてこなかった。中華人民共和国建国後、内部向きに一度復刻版が出されたことがあったようだが、一般的には知られずに来た。もちろん中国革命博物館資料室編『二十六種影印革命期刊索引』（人民出版社、1988年）や『新民主主義革命時期影印革命期刊索引（抗日戦争時期）』（中共中央党校出版社、1987年）などの工具書には入っていない。

日本でも藤田正典編『中国共産党 新聞雑誌研究』（アジア経済研究所、1976年）をはじめその存在に言及されることがなかった。

本目録は、2014年に湘潭大学出版社から進歩期刊総匯シリーズの一環として復刻出版された版に依っている。

- (1) 中共中央組織部・中共中央党史研究室・中央檔案館編『中国共産党組織史資料』第2巻（上）（中共党史出版社、2000年）94頁の「土地革命戦争時期中共中央所辦報刊一覧表」のなかに、『党的工作』は1936年6月10日から1939年5月10日とある。これが正

しければ、さらに1年半刊行されていたことになる。ただしこの記述が何に基づいているのかわからない。

- (2) 「『党的工作』通知(第一号)」創刊号、1頁。
 (3) 劉蘇華『延安時期中国共産党出版史研究』湖南師範大学出版社、2012年、111頁。

第1期(1936年6月10日)

《党的工作》通知(第一号)(6月11日)	1頁
《党的工作》通知(第二号)(6月11日)	2頁
陝甘党目前的三大任務	3-11頁
中国革命戰爭中の糧食問題与糧食工作(6月5日)	12-17頁
節録『総政治部關於回民工作的指示』	18-23頁
揭破漢奸的欺騙	吳亮平 24-30頁

第2期(1936年6月20日)

陝北紅五月掀紅熱潮(6月13日)(1)	1-10頁
是「沒有辦法了」呢，還是不会採用新的策略?(6月13日)	羅邁 10-20頁
赤定安游擊戰爭是怎樣戰勝敵人的?	洪春 20-25頁
对吳堡游擊戰爭的幾点意見	郭滴人 26-32頁
我对於目下辺区工作的一些意見(6月6日)	齊華 33-43頁

第3期(1936年7月1日)

把抗日救国的義旗插遍全中国	羅邁 1-11頁
---------------	----------

陝北游擊戰爭的發展與前途 (6月1日) (1)	洪濤 11-22頁
游擊區域內的蘇維埃工作	馬明方 23-28頁
目前陝北少先隊的任務	馮文彬 29-32頁
延水南區擴紅的經驗與北區的教訓 (6月19日)	劉道生 32-37頁

第4期 (1936年7月11日)

對蒙古工作的意見	劉曉 1-9頁
陝北優紅工作的經驗	蔡乾 9-17頁
利用公開或半公開的可能 (6月25日)	張浩 17-23頁
赤定安爭取群眾的經驗	龔洪春 24-33頁
目前子長的團應做些什麼? (6月25日)	胡輝邦 [胡耀邦] 33-38頁

第5期 (1936年7月21日)

目前蘇維埃的財政金融政策 (7月9日)	林伯渠 2-8頁
西征中四師地方工作的檢閱	劉曉 29-33頁
這個工作團的工作方式應該改正 (7月4日)	梓銘 33-38頁

第6期 (1936年7月25日)

中央關於爭取哥老會的指示 (7月16日) (2)	2-8頁
要嚴格遵守群眾紀律 (7月16日)	楊尚昆 9-19頁
克服新區域團的落後現象! (7月15日)	馮文彬 19-30頁
陝甘寧省委第二次給慶陽縣委信 (7月12日)	31-36頁
靖邊通訊	羅梓銘 36-43頁

第7期（1936年8月3日）

中央關於土地政策的指示（7月22日）(2)(3)(4)	1-5頁
陝甘寧蘇區的形勢与党的任務（7月20日）	富春 5-20頁
陝北游擊隊第一次突擊的總結与第二次突擊的任務（7月20日）	赤兵 21-27頁
劉曉同志關於蒙古工作的來信（7月19日）	劉曉 28-39頁
環県通訊（7月9日）	拓夫 39-47頁

第8期（1936年8月15日）

中央組織部陝甘寧省委信	2-8頁
談談新文字（6月11日）	劉長勝 8-18頁
綏清辺区工作的教訓	達成 19-32頁
游擊隊与游擊戰爭	32-40頁
怎樣赤化新城東南之広大地区	□生 41-50頁

第9期（1936年8月20日）

歡迎北上抗日的二四方面軍（8月15日）	2-6頁
領導群衆的藝術	羅邁 6-19頁
消費合作社問答	覺哉 20-28頁
游擊隊与游擊戰爭（8月7日）	28-32頁

第10期 (1936年9月1日)

陝甘寧省委轉三邊及宋伍閻杜諸同志 (8月18日)	2-20頁
定塩城市工作的兩個教訓 (8月24日)	羅邁 21-33頁
游擊隊与游擊戰爭	洪濤 34-42頁
關於土地政策中幾個問題的答復	觀瀾 42-47頁

第11期 (1936年9月7日)

《党的工作》啓事 (9月1日)	1-2頁
中共中央關於內蒙工作的指示信 (8月24日) (2)	3-13頁
關中游擊戰爭怎樣戰勝敵人的? (8月17日)	汪鋒 14-22頁
志丹県一個半月工作的總結 (8月30日)	滴人 22-37頁

第12期 (1936年9月14日)

中央組織部關於蘇区群眾組織的幾個決定 (8月4日)	1-6頁
關於蘇維埃貨幣政策的一封信 (8月 日)	博古 7-12頁
論要求南京政府停止內戰实行抗日的口号 (9月9日)	亮平 13-22頁
關於新区工作中的幾個問題	拓夫 22-35頁

第13期 (1936年9月20日)

《党的工作》啓事 (9月1日)	1-2頁
中共西北中央局關於蘇区革命互濟会的組織与工作的決定	3-6頁

幹部地方化的重要（9月14日）	羅邁 6-13頁
八月份定塩赤化工作的前進（8月31日）	拓夫 14-21頁
塩池八月份争取群衆的成績	22-24頁
全総西北執行局給県工会的信	24-31頁

第14期（1936年9月25日）

《党的工作》啓事（9月1日）	1-3頁
回民工作中的幾個問題（9月3日）	一氓 4-16頁
陝甘寧游擊隊与游擊戰爭（9月11日）	頼伝珠 17-23頁

第15期（1936年10月5日）

陝北省一個月游擊戰爭突擊總結（9月18日）	鍾赤兵 1-15頁
關於我們对民团与保甲的策略	齊華 16-26頁
關於争閤老会工作的檢討（10月2日）	滴人 26-43頁
不応如此小題大做	亮平 44-47頁

第16期（1936年10月15日）

陝甘寧省委对進行游擊戰爭与游擊隊突擊的決定（9月13日）	2-9頁
中財部支部的思想闘争与教育工作	垂光 10-19頁
關於抗日救亡運動的新形勢与民主共和国的決議的討論提綱(2)	20-28頁

第17期 (1936年10月25日)

關於幹部問題 (10月18日)	1-21頁
把幹部教育列到党的主要工作中來	亮平 21-37頁
紅大教育工作的一點經驗	羅瑞卿 37-53頁

第18期 (1936年11月5日)

老幹部怎樣才能做好新蘇區的工作 (9月23日)	羅梓銘 2-16頁
陝北被占區域的組織上的幾個問題 (9月30日) (1)	洪濤 16-27頁
陝甘兩月來的游擊戰爭 (10月12日)	唐立如 27-38頁
關於回民工作的一封信 (9月24日)	劉曉 38-45頁

第19期 (1936年11月15日)

中央關於青年工作的決定 (11月1日) (2)	2-5頁
使青年運動成為一個巨大的力量 (11月8日)	馮文彬 5-13頁
回民工作中的一些問題	劉曉 13-28頁
共產黨的清高是這樣的嗎?	齊華 28-30頁
十月革命競賽中的支部工作 (中央局支部通訊)	振農 30-37頁

第20期 (1936年11月25日)

党中央中央政府軍委致全体紅軍將士全蘇區人民書 (11月22日) (2)	2-3頁
-------------------------------------	------

慶祝紅軍的偉大勝利（11月23日）	亮平 3-9頁
關於改造团的幾個問題	馮文彬 11-19頁
關於陝甘寧游擊隊与游擊戰爭突擊的總結	賴伝珠 20-28頁
追悼郭滴人同志	亜光 29-31頁

第21期（1936年12月5日）

陝北停戰運動工作的初步檢查（11月3日）	2-9頁
反对在統一戰線中的投降主義傾向	振農 10-16頁
陝北東地区游擊戰爭的兩個教訓	洪濤 17-21頁
紅泉基幹游擊隊兩次事變的教訓	李景林 22-26頁
用馬克思列寧主義來武裝我們的頭腦	齊華 27-33頁
關於給予呼長榮孟立志楊桂榮三同志的處罰通知	34頁

第22期（1936年12月30日）

中央關於不同地区的地方工作指示（12月20日）（2）	2-10頁
一切工作環繞着抗日援綏的運動	振農 11-16頁
為什麼在友軍区域内對於統治階級的態度要有改變	齊華 17-22頁
春季衝鋒季（12月16日）	文彬 23-28頁
幾個問題的解答	夢秋 29-36頁

第23期（1937年1月20日）

旧的形式新的內容	亮平 2-9頁
抗日統一戰線与群眾鬥爭	振農 10-15頁
停戰抗日運動在北線（12月28日）	蔡乾 15-25頁

關於紅軍中某些不良傾向的幾個問題的解答 (二) (1月15日)

夢秋 25-33頁

第24期 (1937年2月1日)

新的形勢新的工作	觀瀾 2-10頁
延安市工会工作的經驗	劉長勝 11-20頁
怎樣加強政府工作	覺哉 20-28頁
志丹县的争取民团工作	曹力如 28-34頁

第25期 (1937年2月13日)

漢奸托洛斯基派是中華民族的凶惡敵人	2-5頁
從現在来看過去 (2月6日)	張國燾 6-13頁
關於我們工会工作的幾個問題	劉長勝 14-21頁
延安青年工作的一些經驗	胡耀邦 21-29頁
反对漢奸托洛斯基派的討論提綱	29-34頁

第26期 (1937年2月17日)

中国共產党中央給中国国民党三中全会電 (2月10日) (2)(3)(4)(5)	2-3頁
中共中央關於西安事變和平解決之意義	
及中央致国民党三中全会電宣傳解釋大綱 (2月15日) (2)(3)(5)	4-7頁
擁護中国共產党中央二月十日的通電 (2月14日)	亮平 8-24頁
關於統一戰線区域工作的幾個意見	羅邁 24-29頁
合水友軍区域在一個月來工作的檢查	賴伝珠 30-35頁

第27期（1937年2月26日）

中共中央關於內蒙工作給少数民族委员会的信（2月7日）(3)(5)(8)	2-6頁
非克服閹門主義不足以開展廣大的抗日統一戰線（2月10日）	閔烽 6-18頁
統一戰線区域的工作	羅文 18-31頁
關於党中央二月十号通電在討論中幾個疑問的解答意見	世文 31-37頁

第28期（1937年3月9日）

再論「旧的形式新的内容」	亮平 2-11頁
西北青年救国代表大会的前面	文彬 12-19頁
給陝北省委關於統一戰線工作的一封信	中央組織部 20-27頁
全總西北執行局的決議（3月3日）	28-34頁

第29期（1937年3月23日）

春耕緊張了	2-5頁
反对閹門主義的危險（3月6日）(1)	洪濤 6-13頁
應該使每一個群眾都懂得党的策略	振農 14-21頁
確切認識幹部 嚴密党的組織	喬備果 21-26頁
中央機關總支如何傳達中央的決定（3月21日）	垂光 26-32頁

第30期 (1937年4月9日)

宣伝大綱——国民党三中全会与我們的任務 (4月3日) (2)(5)(6)	2-8頁
閬中工作的一些總結	羅邁 9-25頁
轉變三邊工作 (3月31日)	白堅 26-32頁
蟠龍區第七鄉支部通訊	33-36頁

第31期 (1937年4月12日)

全蘇區黨代表會議	亮平 2-10頁
關於我的錯誤 (4月6日)	張國燾 11-13頁
鄜縣工作狀況 (3月29日)	羅邁 14-30頁
關於紅軍中新的政治工作的意見 (3月26日)	譚政 31-48頁
五一節講話材料	中央局宣伝部 49-52頁

第32期 (1937年4月22日)

發展黨內民主	亮平 2-10頁
糾正陝甘寧統一戰線區域工作的幾個重要的弱點	富春 11-24頁
關於陝北工作的意見	羅文 24-38頁
志丹縣關於春耕動員的通訊	38-43頁
劉志丹同志逝世一周年紀念 (4月12日)	白堅 43-48頁

副刊——反对張国燾路線專号之一（1937年4月24日）

中央政治局關於張国燾同志錯誤的決議（3月31日）(2)(5)	1-6頁
党中央与国燾的分岐在那裡？	凱豐 7-74頁
反对張国燾路線討論大綱	75-89頁

第33期（1937年5月10日）

提高我們的政治警覺性	亮平 2-8頁
如何在統一戰線区域爭取抗日自由与民主權利	羅邁 9-20頁
關於轉變蘇維埃政權為模範抗日民主政權的意見（4月22日）(1)	洪濤 21-30頁
對於特区附近友区工作的幾個意見	劉曉 31-43頁

第34期（1937年5月25日）

蘇区党代表會議組織報告提綱（5月17日）(7)	2-12頁
党内教育問題(3)	凱豐 14-19頁
怎樣在陝甘寧边区建立民主共和制度？	20-36頁

第35期（1937年6月11日）

特区党選舉条例（5月15日）(3)	2-3頁
正確的領導特区党的選舉運動	王達成 4-11頁
關於爭取民团問題	羅邁 12-21頁

定辺塩池最近工会工作的經驗与教訓 (5月5日) 鍾梅生 22-25頁

第36期 (1937年7月6日)

中国共産党陝甘寧辺区委員会在民主的普選運動中所提出的民主政府施政綱領 (6月20日) (3)(8)	2-4頁
特区党委關於選舉運動的指示信(3)	4-11頁
陝北統一戰線工作中的幾個問題	王濤 12-18頁
延安县委開辦訓練班的經驗 (6月11日)	劉有恒 18-23頁
陝北總工会目前的中心工作与今後應該注意的問題	23-29頁
陝北分区党委声明	29-30頁

第37期 (1937年7月15日)

陝甘寧辺区党委關於哥老会工作的指示草稿(3)	2-7頁
加強匪区群眾工作	達成 7-19頁
關於所謂自首份子的決定 (7月7日)	19-21頁
西北保衛局機關支部工作的轉變 (6月28日)	劉海浜 22-30頁

第38期 (1937年7月25日)

中央關於蒙古工作的信 (7月10日) (2)(3)(5)(8)	2-7頁
抗日救蒙会行動綱領(8)	7-8頁
關於統一戰線的農村開闢工作的經驗教訓 (6月8日)	俚夫 8-36頁
開展中的清綏群眾鬪爭 (6月24日)	王濤 36-38頁
三辺統一戰線工作通訊 (7月2日)	杜平 39-42頁
關於盧溝橋事件及日本新進攻的宣傳大綱 (7月14日)	42-47頁

全総西北執行局

關於陝甘寧辺区職工運動組織問題的決議（6月12日通過） 47-50頁

第39期（1937年8月8日）

陝甘寧辺区党委關於工会工作的指示信（7月17日）(3) 2-7頁

華北平漢線の農民運動和反日游擊戰爭的檢討（6月7日）

廷玉 8-39頁

第40期（1937年8月11日）

陝甘寧辺区党委關於識字運動月（九月）工作決定（8月1日） 2-6頁

怎樣來保證識字運動月的成功和超過（7月28日） 陳正人 7-14頁

五、六二月青年的識字運動（7月30日） 群起 15-22頁

第41期（1937年8月15日）

陝北党内の民主選挙運動 明方 2-8頁

延安県北一区政府選挙の経験 呼思恭 8-12頁

安塞通訊（8月6日） 馬国瑞 高再增 13-18頁

支部選挙中的一些經驗与教訓 張邦英 19-25頁

開展中的辺区民主選挙運動（8月10日） 瀾濤 26-29頁

啓事 編者 30頁

第42期 (1937年8月28日)

- 抗戰階段特區黨的任務與工作 (8月20日) (1) 洪濤 1-6頁
在抗戰動員中應百倍的提高我們的政治警覺性 (8月24日) 瀾濤 7-9頁
抗戰動員宣傳大綱 (8月20日) 陝甘寧邊區黨委宣傳部 10-13頁
抗戰動員中邊區職工運動的任務 (8月20日) 齊華 14-16頁
延安市通信一黨與群眾工作 (8月18日) 白堅 17-21頁

第43期 (1937年9月13日)

- 中共中央關於目前形勢與黨的任務決定 (8月15日) (2)(3)(4)(5) 1-2頁
中國共產黨抗日救國十大綱領 (8月15日) (2)(3)(4)(5)(8) 2-4頁
中日戰爭爆發後的新形勢和黨的總任務 (9月6日) 瀾濤 5-11頁
邊區黨委關於改造赤衛軍的決定 (8月25日) (3) 11-12頁
邊區黨委關於貧農團改造的決定 (8月27日) (3) 13-15頁
陝北西分區鄉政府民主普選的總結 (9月5日) 15-20頁

第44期 (1937年9月26日)

- 最近抗戰失敗中的幾個宣傳解釋問題 (9月22日) 瀾濤 1-3頁
澈底根絕土匪漢奸的破壞搗亂 (9月22日) (1) 洪濤 4-6頁
全邊區人民動員起來參加秋收運動 (9月20日) 馬明方 6-7頁
向着貪污分子開火吧! (9月22日) 瀾濤 7-9頁
抗戰階段的邊區經濟建設 (9月21日) 子偉 9-13頁
慶陽統一戰線工作的經驗和教訓 袁國平 13-16頁

陝甘寧辺区党委關於辺区婦女群衆組織的新決定(3) 17-19頁

第45期 (1937年10月5日)

辺区開始成為直接抗戰地區的形勢及党的任務与工作(1)	洪濤	1-11頁
怎樣整理抗日自衛軍和少先隊? (9月28日) (1)	洪濤	11-13頁
辺区党委關於徵收救國公糧的決定 (9月1日)		13-16頁
為徵收一萬五千石救國公糧而鬪爭	明方	16-17頁
怎樣使第二次支部改選適合新的形勢 (9月30日)	達成	17-19頁
辺区郵政工作需要一個澈底的轉變	方	19-20頁
全綫西北執行局關於辺区工会徵收會費的決定 (9月20日)		21頁
支部通訊 (9月20日)	崔曙光	22-25頁

第46期 (1937年10月20日)

反对自由主義 (9月7日)	毛沢東	1-3頁
慶祝紅軍抗戰勝利	王宗元	3-5頁
認清國共兩党合作宣言! (10月12日)	瀾濤	5-8頁
動員壯健的少先隊員加入到自衛軍中去 (10月13日)	朗山	8-9頁
辺区婦女抗戰動員中的幾個工作	劉素菲	10-12頁
反对地主收回土地	曹立如	12-14頁
對於延安南区党的領導的檢查	安志文	15-18頁
延安市工会通訊 (延安市工人俱樂部最近工作的檢討)	正義	18-20頁
中宣最近剿匪鋤奸工作的報告		21-22頁

第47期 (1937年11月17日)

全特区人民武装起来！保衛特区、保衛華北、保衛全中国	若飛	1-4頁
特区党委直属各県關於加緊抗戰動員工作的初步檢查		5-8頁
延安県抗戰動員工作初步的檢查	有恒	8-11頁
延安県婦隊工作中的經驗与教訓		11-15頁
延安県整理少先隊工作的初步檢討 (11月9日)	鉄鳴	15-17頁
抗戰動員中延安中区第三郷の支部工作	崔曙光	17-20頁
延安県党内工作的幾個嚴重缺点	有恒	20-22頁
怎樣開展鋤奸運動	履清	22-25頁
関中組織工作中幾個問題	張邦英	25-29頁
華池県二区四郷支部工作通訊 (11月1日)	徐錫齡	29-31頁
編後記		31頁

第48期 (1937年12月1日)

特区政府民主選舉的方針	若飛	2-4頁
關於進行特区政府民主選舉的指示 (11月22日) (3)	特区党委	4-8頁
陝甘寧特区政府民主選舉運動宣傳大綱 (11月23日)		8-10頁
過去選舉工作檢查		
志丹県郷政府改選的情形		11-13頁
淳耀県区級選舉運動		13-15頁
延長県議員大会經過		15-19頁
附録：選民大会的提案		19頁
過去選舉工作的缺点与今後選舉工作應注意事項		20-23頁
特区直属各県抗戰動員工作的第二次檢查 (11月21日)	特区党委	23-30頁
中国共產党陝甘寧特区委員会		

在民主的普選運動中所提出的特区政府施政綱領	30-31頁
用一切的力量加緊完成救国公糧	31-32頁

- (1) 作者は郭洪濤。中国交通運輸協會編『郭洪濤文集』（中共党史出版社、1998年）に収録。
- (2) 中央檔案館編『中共中央文件選集』第11冊（中共中央党校出版社、1991年）に所載。
- (3) 西北五省区編纂導小組・中央檔案館編『陝甘寧辺区抗日民主根拠地』文献卷・上下（中共党史資料出版社、1990年）に所載。
- (4) 日本国際問題研究所中国部会編『中国共産党史資料集』第8巻（勁草書房、1974年）に所載。
- (5) 中共中央文献研究室・中央檔案館編『建党以来重要文献選編（1921-1949）』第14冊（中央文献出版社、2011年）に所載。
- (6) 張聞天選集編輯組編『張聞天文集』第2巻（中共党史出版社、1993年）に所載。
- (7) 作者は秦邦憲。5月2日から14日まで延安でソヴェト区代表會議が開催された（中共中央党史研究室『中共党史大事年表』人民出版社、1987年、118頁）。報告が行われたのは、5月10日である（『中共中央文件選集』第11冊、213-223頁。『建党以来重要文献選編（1921-1949）』第14冊、211-220頁）。『陝甘寧辺区抗日民主根拠地』文献卷・下、492頁では、5月17日代表會議通過としているが、14日に會議が終了していたとすれば矛盾することになる。
- (8) 中共中央統戦部編『民族問題文献匯編』（中共中央党校出版社、1991年）に所載。